

水と緑に接し、歴史文化の香るこの場所を活かし、茨木市の新たな市民文化創造の拠点を、市民と共に創ります

建物を、①大ホール、②子育て世代包括支援センター、③エントランス+カフェ+多目的ホール、④図書館+市民利用・活動+プラネタリウム、の大きく4つのゾーニングに分け、利用者にわかりやすい、明快な断面構成とします。

01. 茨木のまちの中核をなす、多様な人々が行き交う「市民の広場」をつくります

人々のにぎわいの拠点をつくるため、敷地の東西南北からの人の流れを、この施設全体が形づく「市民の広場」に迎え入れ、多様な人々を互いに引き合わせるようなデザインを提案します。

02. 明快な断面ゾーニングによるハイブリッドな建築をつくります

私たちは、さまざまな機能がつながり、交じり合うことを活かした相乗的な交流による相互啓発の機会が生まれ、昨日までの自分の知らなかった魅力的な未知の世界、世代を超えた様々な活動に日々触れることのできる場所としたいと考えます。

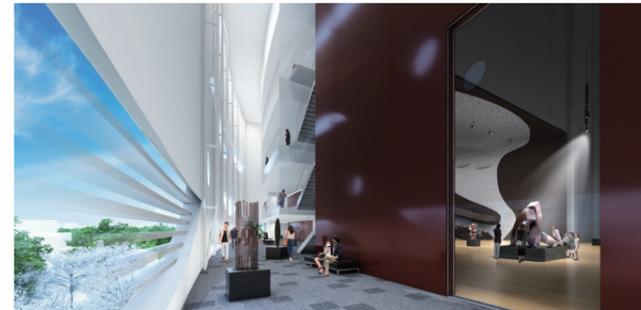


断面パース

周辺環境と建築が一体となったランドスケープをつくります



丸みを帯びた柔らかい外観やホール外形に呼応する記憶に残る個性的でかつ親しみやすいホールのデザイン



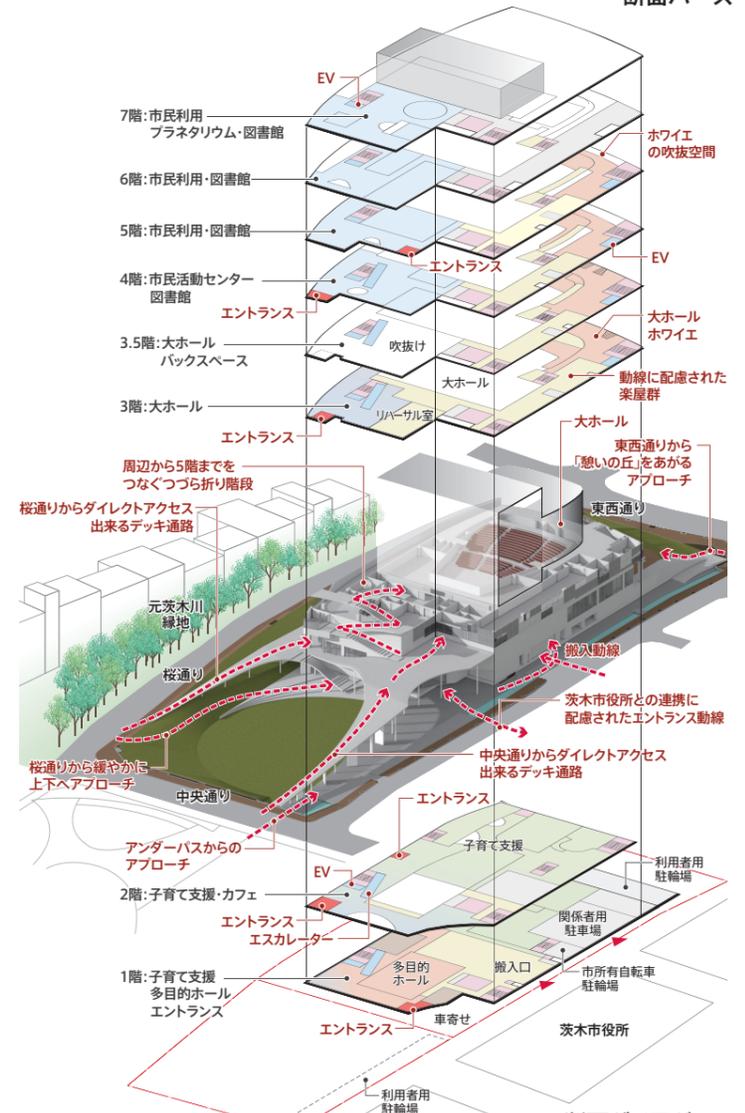
元茨木川緑地のゆらぎを感じられる、この場所ならではの特徴あるギャラリー・ホワイエ



まちと広場に開かれた多目的ホール



「切れ目ない支援」をささえる「いばらき版ネウボラ」をつくります



断面ダイアグラム

元茨木川緑道の新たなランドマークとして、市民に親しまれる「文化の器」をつくります



すべてのフロアが図書館とつながる本を通した「出会い×憩い×育ち」の場をつくります